

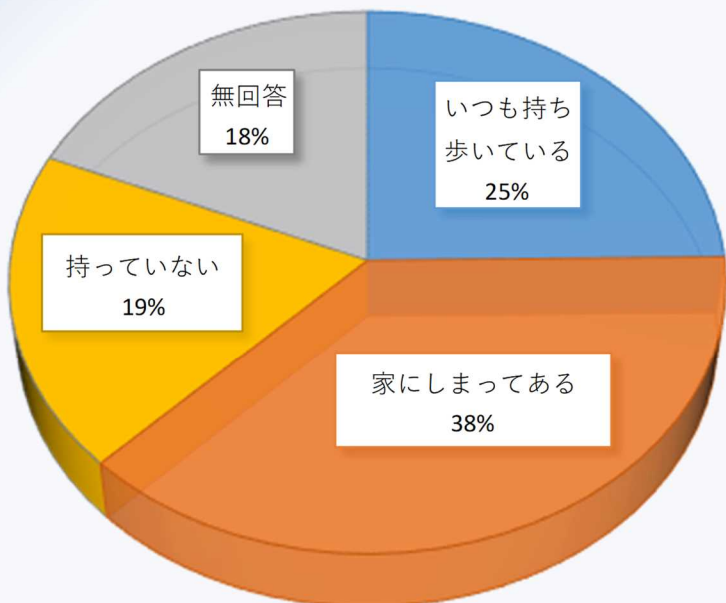
# 交通安全ワンポイントアドバイス



令和5年9月から11月にかけて県内各所において実施した、高齢運転者を対象とした交通安全教室において、交通安全に関する意識調査のアンケートに協力していただいた242名（平均76.0歳）の回答を集計・分析した結果に基づいて、ワンポイントアドバイスをさせていただきますので皆様も参考にしてください。

## 歩行中の反射材使用に関するアンケート

### 反射材所持状況



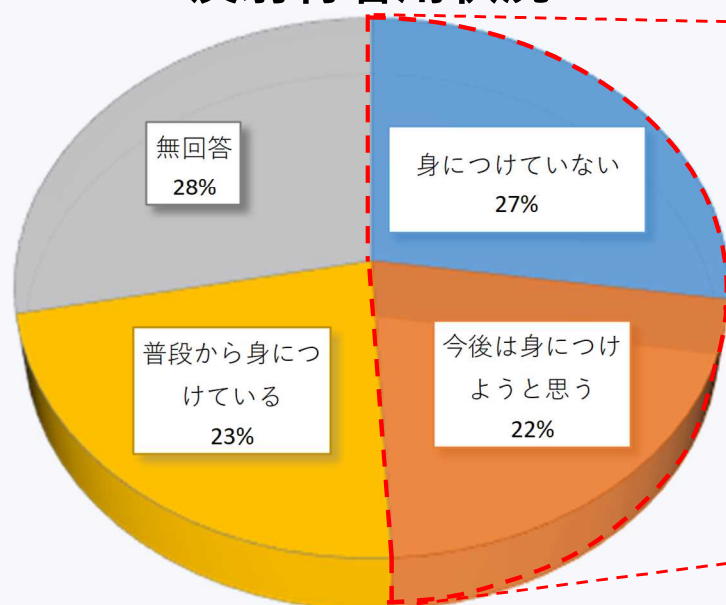
せっかく反射材を持っていても、家でしまっていてそのままになっている人が多いようです。

**反射材を手に入れたら、必ず身につけるようにしてください。**

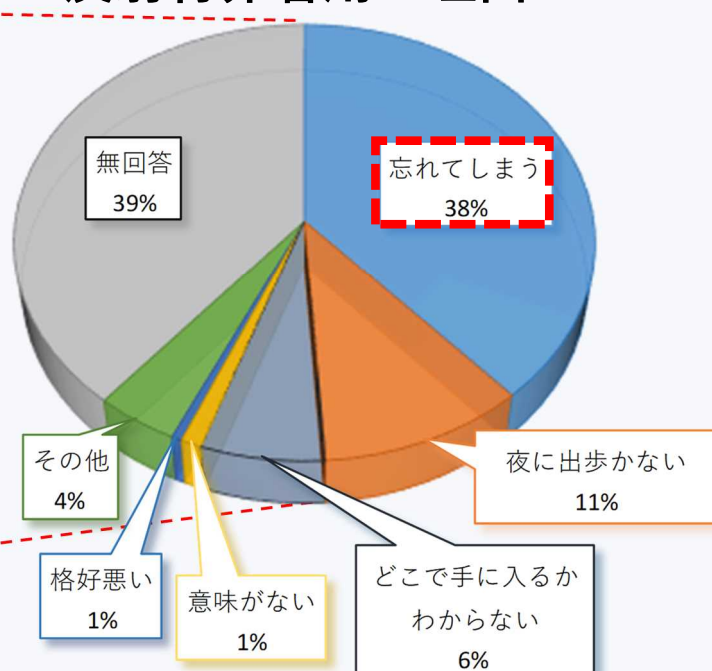
**持っているだけじゃダメですよっ！**



### 反射材着用状況



### 反射材非着用理由



※その他は「面倒くさい」「習慣がない」等の単独意見が数件

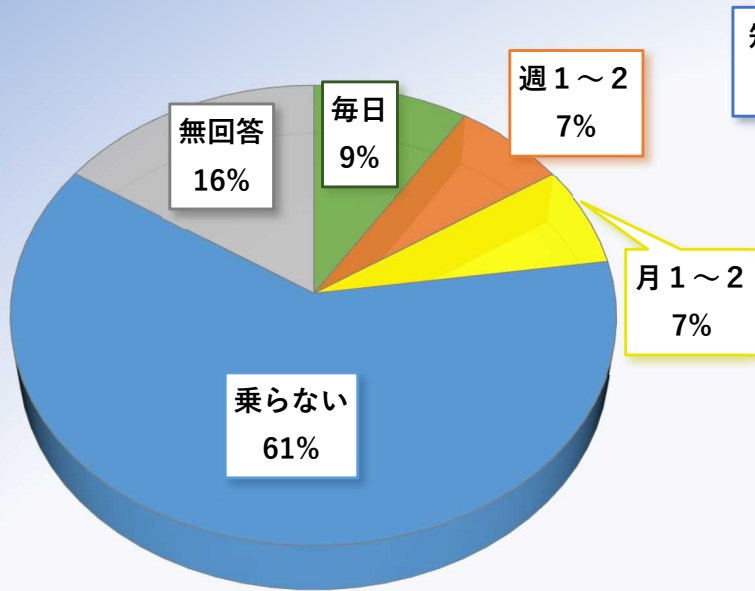
普段、反射材を「身につけていない」等と回答した人のうち、38%の人が持っていても身につけるのを忘れてしまう事が多いようです。

つけ忘れを防ぐために、あらかじめ**普段使いの靴や鞆などに反射材を貼り付けておく**ことをお勧めしています。

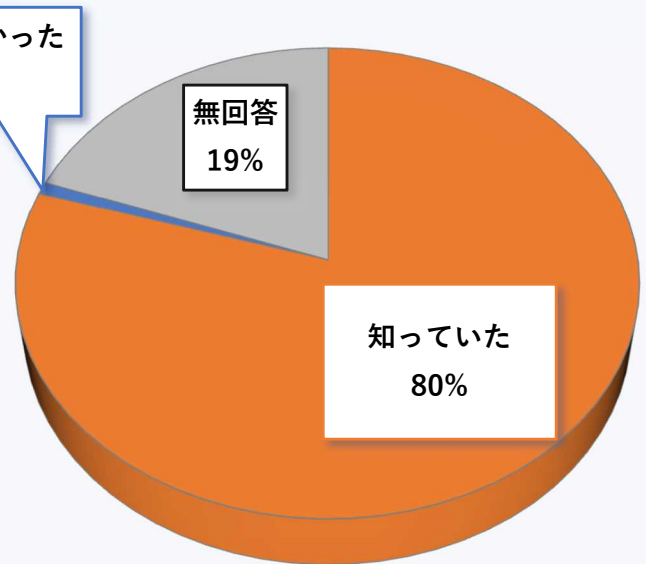


# 自転車乗車時のヘルメット着用に関するアンケート

自転車使用状況



ヘルメット着用努力義務化認知度

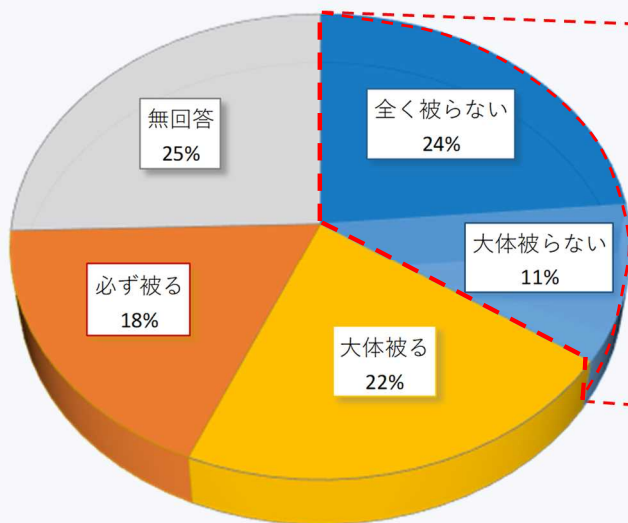


※自転車使用状況に関わらず集計

アンケートに答えていただいた方は、車の運転を継続している方でしたので、自転車に乗らないという方が多かったようです。それにも関わらず、多くの方が**自転車乗車時のヘルメット着用努力義務化**について知っていただけていることが分かる結果となりました。

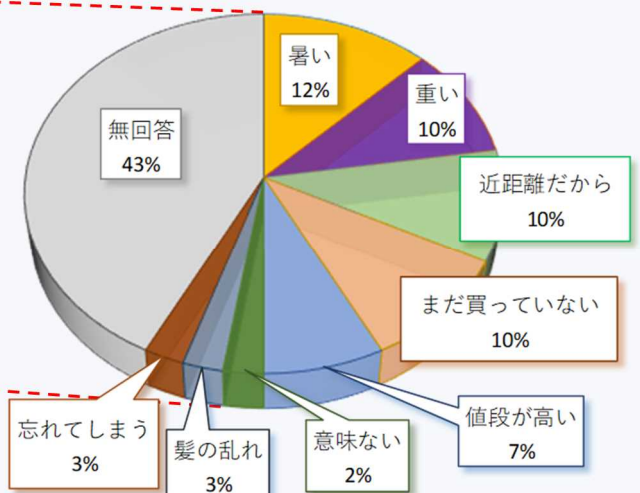


ヘルメット着用状況



※自転車使用状況で「乗らない」、「無回答」と回答した人は除いて集計

ヘルメットを被らない理由



※ヘルメット着用状況で「全く被らない」、「大体被らない」と回答した人を対象として集計

ヘルメットを「必ず被る」という方は18%に留まる結果でした。被らない理由として、暑い日が続いた時期に実施したアンケートということもあり「暑い」が最も多く、「重い」、「近距離だから」等と続きました。

「暑い」「重い」「値段が高い」とつい敬遠したくなってしまいますね。でも、交通事故は、「今まで大丈夫だったから」、今日も「起こらないだろう」ではなく、もしかしたら**起きてしまうかもしれない**と考えた上で、遭わないように・遭ってしまっても大怪我をしないで済むように対策をすることが大切です。

**大切な命を守るために、ヘルメットの着用をお願いします。**



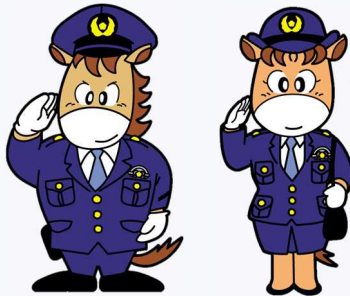


ウォーキング行く時は反射材つけてってるけどね  
ちっとんべえ出かけるときは忘れっちゃうんだいね

近所で乗るだけなんだから、事故なんか遭わねえべ  
ヘルメットなんかよいじゃあねえもん  
なくたって大丈夫、大丈夫



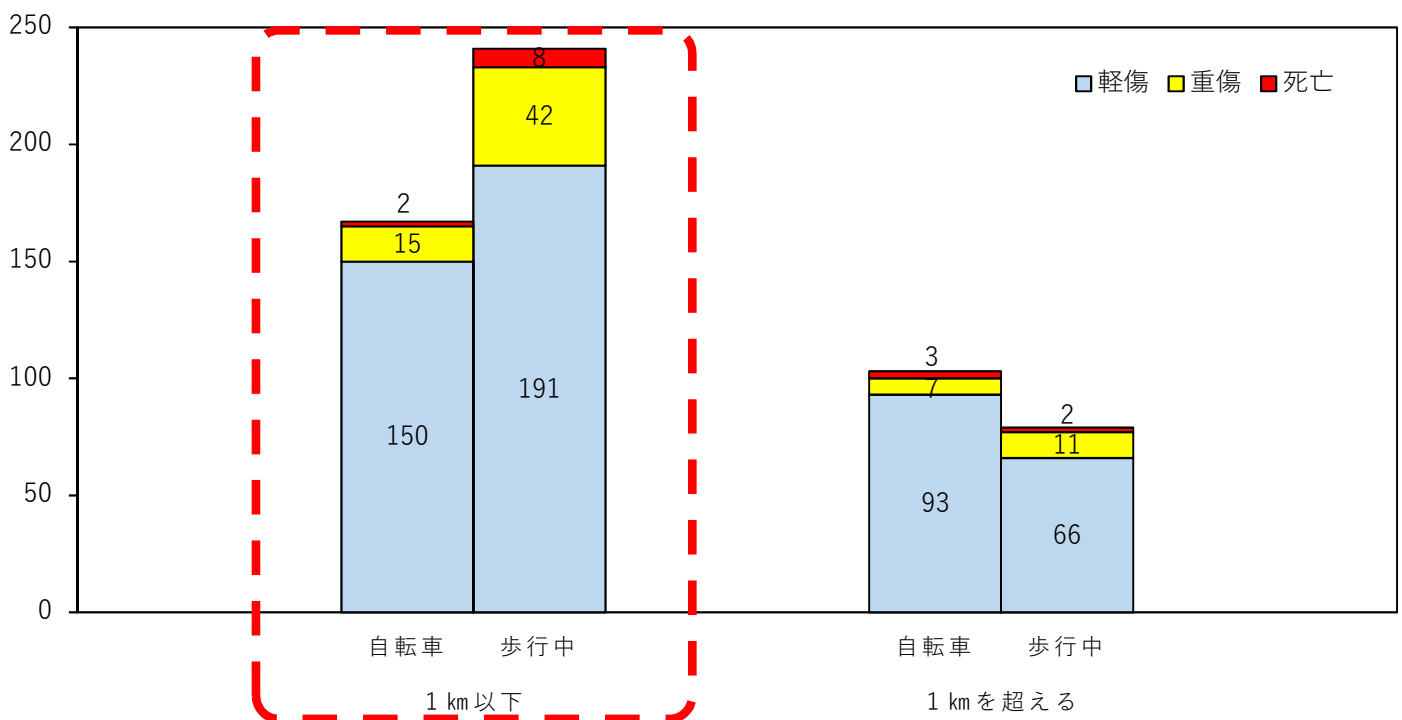
ちよつと  
待った!



家の近所だからといって  
油断しないでください!

## 令和5年中 高齢者事故状況

(家からどのくらいの距離で事故に遭っているか)



こちらのグラフのとおり、高齢者の歩行者や自転車が関係する交通事故の多くは、家から**1 km以内の範囲で発生**しております。

近所だから大丈夫と思わないで、反射材とヘルメットを忘れずに着用をお願いします。

